

## 令和2年まちづくり懇談会 顛末書

開催日時	令和2年1月22日(水) 18:00～19:44
会場	東別生活センター
自治会名	東別連合自治会、西端連合自治会
出席者	<p><b>【町側】</b>            大野町長、本庄副町長、高野教育長、坂総務部長、岩淵総務部参事監、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、藤沢健康生活部参事監、酒井建設部長、木村農林水産部長、上田教育部長、木村地域振興部長、渡辺医療介護対策室主幹、柴田企画課長、村岡企画課主幹 15人</p> <p><b>【自治会側】</b>            19人(男性17人、女性2人)のほか町議会議員5人</p>

### 《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	柴田企画課長 18:00～
自治会長挨拶	<p>西端連合自治会長</p> <p>明けましておめでとうございます。            夜分遅くで職員の方には申し訳ありませんが、たくさんの方々にお出でいただきありがとうございます。</p> <p>今日は、町を良くするための懇談会でございますので、いろいろとお話したい方がたくさん来ておりますので、忌憚のない意見をお願いしたいと思います。</p> <p>町では、要望してもできないこともあると思いますけれども、なるべく実施していただきたいと思います。</p> <p>最後までよろしく申し上げます。</p>
町長挨拶	<p>大野町長</p> <p>お晩でございます。</p> <p>今日はせっかくの機会ですので、皆さんから常日頃思われていることやご意見をいただきたいと思います。</p> <p>今朝の新聞の日高版に東静内地区のまちづくり懇談会における私のコメントが出ていましたが、あのようなことは言っておりません。三石地区の総合町民センターを否定したかのようなコメントが出ていますけれども誤報ですので、担当者から新聞社に申し入れをしているところです。私が言ったことは、できたものを前に進むうえできちんと皆さんで利用しましょうと言っただけでありまして、造ったことが良い、悪いと言っている訳ではありません。皆さんにご理解をいただきたいと思います。</p> <p>今日は、ざっくばらんに意見交換を行いたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
職員紹介	柴田企画課長

資料説明	<p>坂総務部長</p> <p>1. 使用料・手数料の改定について</p> <p>藤沢健康生活部参事監</p> <p>2. 介護サービス事業及び病院事業の経営改善に向けて</p> <p>渡辺健康生活部長</p> <p>3. 出前講座のご案内</p>
質 疑 連合自治会長	<p>手数料の見直しや介護と病院の件で町が進めようとしていることは、今始まった問題ではなくて、どこで踏み込んで実施するかというタイミングだったと思う。農業をやっている立場から考えると農協の合併問題があり同じだと思う。どれだけ気持ちを込めて踏み込むか。これは苦しくなってきたらどこかでやらなければならないことだ。これを次の世代に引き伸ばして行くのではなく、今の段階でできるのであればやった方が良くと思う。</p>
<p>懇談希望テーマ 連合自治会長</p> <p>連合自治会長</p> <p>藤沢健康生活部 参事監</p> <p>連合自治会長</p> <p>藤沢健康生活部</p>	<p>①病院を含めた福祉施策全般について</p> <p>広報にも詳しく掲載されていたが、それ以前にテーマとしてお願いしていた。今日の説明を聞き、自治会の立場で考えてもやらざるを得ない状況になってきたと思う。これから若い人たちが親をどうしていくかという年代であり、これは大きな問題で皆さんに意見を聞くとたくさん出ると思う。できないことを今後どうしていくか方向を決めて、これからは利用する住民も大変だが、当然応分の負担は必要な時代になってくると思う。そうしなければサービスの限界がくる。</p> <p>介護サービスを民間に委託するとなれば、金額が相当違うのか。職員が多すぎてお金がかかっているのか。</p> <p>デイサービスの職員数は実際に不足していて、定員まで受け入れができていないのが実情です。民間になると人の確保について行政が運営するよりも効率的に人を集めることができると思っています。また、お金の関係は、公務員であるため民間業者と比べると給料が高い部分があります。その部分が今後抑制されていくことで赤字になっている部分は削減されるものと思っています。</p> <p>一番大事なところの運営の方法ですが、行政が運営するときちゃんとルールを守ります。それが行政の良いところで、町民にとって安心・安全というところがあると思いますが、民間はその部分も含めてもっと効率的で自由に運営するノウハウをお持ちのところが多いので、どこの業者が入るかということがありますが、利用する方にとってプラスになる部分があるものと考え委託を進めていきたいと考えております。</p> <p>先日、下川議員から事業の話聞く機会があり、入所者が70人に対して職員が100人必要だということだった。民間に委託する場合には地元でやってくれる企業がいるかどうか。大きな企業がきてもらえば良いと思う。実際にはどこでも人手不足で小さな企業は倒産しているため、難しい問題だと思う。</p> <p>受け入れ業者の件は、地元では難しいと思っています。50人から60人の定員の</p>

参事監	<p>ところであれば、他町では社会福祉協議会に運営していただいているところが多いのですが、静寿園は120人、蓬莱荘は50人で、民間でも運営しているところが少ない状況です。基本的には、大きな施設を運営しているところをお願いしたいと考えております。民間はいろいろなノウハウを持っていますので、それを活用してできるだけ人員と経費を削減し、入居者にとって良質な介護をしていただきたいと考えています。</p>
本庄副町長	<p>人口推計では、2025年まで高齢者は増えます。2025年までは今の体制を無くすことができません。安心・安全を保持していくために何らかの運営をしなければなりません。民間のノウハウでどのような運営をしているかを調査し話を聞かせてもらっています。加算の取り方や稼働率の作り方など、プロの話が聞けて町で運営するよりもっと効率的なやり方がたくさんあるようです。民間のノウハウを活用できるところがあるのであれば利用させていただいて、改善していくしか方法がないと思います。</p> <p>病院は、合併時から三石地区には三石国保病院以外の診療所が無いので、病院を無くすことはできません。入院病床は、42床のうち20床程度しか埋まらない状況が続いており、入院病床だけでも1億円以上の赤字が出ている現状です。町立静内病院も満床になっていませんので、ベッド数を合わせることによってある程度の稼働率が確保されるやり方をせざるを得ない状況で、これから人口も減ってくるので、病気になる人の数が増えることは考えづらい。そうするとそこも集約しなければ継続的な運営は難しい。あれば良いという施設等はたくさんあります。私たちも無くせば良いと思っているわけではありませんが、なければならぬものを存続するためには何か我慢してもらわなければならないのが現状です。病院も満床で入院しているのにそれを無くすという乱暴なことをするのはなくて、きちんと集約できる体制を整えて進めていきたいと考えています。</p>
連合自治会長	<p>町民が現状をもっと知らなければ理解できない。理解できたら仕方ないと思う。</p>
本庄副町長	<p>三石地区に病院が無くなるという誤った情報があり、非常に困っています。住民の方が聞く耳を持たない状況になってしまう。説明を続けてご理解いただくしか方法が無いと思います。なければならぬものは絶対無くなさいと思って行政を進めているので、話をしながら理解していただくしかないと思っています。</p>
連合自治会長	<p>入院病棟を廃止すれば職員も減ると思うが、医師も減るのか。</p>
本庄副町長	<p>財政難をクローズアップしてお話ししていますが、医療従事者が不足している問題もあります。病棟を集約すると看護師が必要なくなります。慢性的に看護師が不足していますので、町立静内病院にその分が回って充足され、薬剤師や管理栄養士の必要がなくなり人的なメリットもあります。</p> <p>また、病棟が無くなると夜間勤務が無くなり、救急体制をどうするか、診療所も無くなるとすれば、往診型のもので出てくるなど、無くなるもののカバーリン</p>

	<p>グができるような、全てを無くすということではなく、どうしたら不安が消えるのか検討を続けています。これは決定事項ではなく、皆さんと協議して意見を聞き入れながら、一番良い形で実施に踏み切るということを考えていますので、どんな不安があるか、救急の際はどうすれば良いかなどいろいろな不安が出てくると思います。</p>
連合自治会長	<p>これを進める中において、在宅介護が増えてくると思う。そのときに往診型が必要になるのか。</p>
本庄副町長	<p>国の方針はそうなっていますが、帰る家が無い人もいます。町村では全部を一律にやることは難しいと考えています。</p>
連合自治会長	<p>静内地区の町中には医者がたくさんいる。その方たちが三石地区の往診をするのはかなり難しいと思う。</p>
連合自治会長	<p>山田クリニックは、三石地区の往診に来ていただいている。</p>
本庄副町長	<p>町立病院も含めて、医者の確保の問題になってくると思います。三石国保病院は医師が高齢化しており、医師が欠けたときの補充ができていません。来てくれる医師がいないため医師確保対策も課題です。65歳で定年になったときに嘱託職員になり年俸を下げていますが、1人欠けたら運営が非常に厳しくなります。往診型にすると外来診療が弱くなるため、医師の数の確保をしなければなりません。制限がたくさんあって、看護師も1週間の泊りの回数が決められており、守らないとペナルティがあります。</p>
連合自治会長	<p>三石地区の連合自治会長会議の中で、医師の確保や情報提供をお願いされた。</p>
本庄副町長	<p>身内や知り合いで医療従事者がいればご紹介いただきたいという趣旨です。</p>
連合自治会長	<p><b>②東別生活センター・西端生活館の今後のあり方について</b>  平成29年に説明会があり、東別生活センターは存続して西端生活館は廃止することで西端地区と話し合いを持った経過があると思うが、どの程度まで進んでいるのか。</p>
坂総務部長	<p>町内全体の施設がかなり多く将来的に施設を存続していけないため、平成29年10月に東別・西端地区だけではなく、地域ごとに将来的に残す施設と古くなった施設は統廃合させていただきたいと説明をさせていただきました。その後地域とも何度か意見交換をさせていただきました。</p> <p>町の考え方としては、東別地区と西端地区には東別生活センターと西端生活館、休止中の東別生活館があり、統廃合して東別生活センターに集中させたいという考え方は現在も変わっていません。両連合自治会会長とも協議して、東別地区は概ね了承いただきましたが、西端地区は施設をコンパクトにしても良いから改修</p>

	<p>ではなく、新築で考えられないかというお話もいただいております。新築という考え方もありますが、町内には65の施設があり、コンパクトにしても全てを新たなものにすることは財源的にも厳しいものがあります。</p> <p>また、昭和56年に現在の耐震基準になっており、西端生活館は昭和44年建設、東別生活センターは耐震基準と同じ昭和56年建設であり、地域との合意を目指して協議をしている状況です。</p>
連合自治会長	どの程度話が進んでいるのか。
坂総務部長	西端地区の自治会とは、最終的な合意まで行っていません。もう少しコンパクトで新築したいという要望です。
連合自治会長	東別生活センターは奥まっついて入りづらいため、前側に造ったら良いということだった。昨年暮れに役場の担当者が来て、当時は改築や新築する場合は別な資金だったが、今度は補助率が高いアイヌ資金を使い、できれば改修ではなくて、新築でも規模の小さいものにすれば良いのではないかと。
坂総務部長	全国的にもこのような施設が多く、統廃合するための起債、いわゆる借金の制度が数年前に作られました。これまでは、廃止についても一般財源で解体しなければならなかったのですが、起債が借りられる制度や新たな交付金が出て改修などにも利用できることになっています。ただし、交付金の財源については、好きなだけ使えるものではありません。今年度は梶舞地区を先行して進めており、生活改善センターを改修して梶舞生活館と美野和生活館を解体します。解体も交付金の対象となるため実施しています。新築となると金額が大きくなりますし、交付金の使途が生活館の改修だけに使っていくということではないのでご理解をいただきたいと思います。町内の施設を全て新築するとなるとそれなりに金額がかかりますし、この制度はいくらでも良いというものではないので、改修で対応できるものについては改修で進めさせていただきたいと思います。
連合自治会長	会長として自治会の意見を集約すると合併町の中央に位置するため、年配の方と一緒にやるのが嫌だという人がいる。総会でも話をしているがまとめるのが難しい。
連合自治会長	新たな交付金について、新ひだか町にどのくらいの財源がくるのか。
坂総務部長	アイヌ政策交付金という交付金ですが、国から8割、残りの2割のうち2分の1が交付税で措置されます。
連合自治会長	総額でどのくらいの予算なのか。
大野町長	令和元年度は全国枠で10億円の予算が付いています。国会審議がこれから始まりますが、令和2年度の予算は20億円です。生活館の改修に使うというよりは、

	<p>メニューに無いところを狙いながら予算をつけていただいています。基本的にはアイヌ文化をどうやって発信するかというものであり、アイヌの方が居住していない地区でも使えます。実際に本州でも令和元年度の予算で1か所使っています。これが全国的に広まってくると20億円はすぐに無くなってしまいます。そうなるまで今までのものを長寿命化して使いましょうというのが世の中の流れですから、新しく造るものと長く使えるところは長く使いましょうということになるので、ますます難しくなります。令和2年度の予算で生活館を建てるとなるときに予算がつくのは難しい状況です。</p>
連合自治会長	<p>西端地区では、できれば西端生活館を新しく建ててもらえればうまくいきそう。西端生活館を廃止して東別生活センターを改修する場合と、西端生活館を廃止して東別生活センターを新築して既存の建物を解体する場合の予算的な違いはどのくらいあるのか。</p>
坂総務部長	<p>近年は建築費が高騰しています。コンパクトにする場合でも大きさによりませんが1億円は下らないと思います。内容にもよりますが、改修ではそれ以下で実施できると思います。</p>
連合自治会長	<p>鳧舞生活館と美野和生活館の解体が広報に出ていたが、西端生活館はいずれにしても解体になりるが、新しい交付金ではどうなるか。</p>
坂総務部長	<p>先ほど説明した内容で事業が進むとすれば、西端生活館と休止している東別生活館の解体は交付金の対象になると思います。また、東別生活センターの改修後に生活館に名称変更させていただくことで交付金の対象になると思います。今年度実施している鳧舞地区においても、鳧舞生活改善センターという名称でしたが、改修後には鳧舞生活館という名称に変更させていただき、交付金の対象となるように事業を進めています。</p>
連合自治会長	<p>東別生活センターを新築する場合には解体しなければならない。元は生活館ではないが解体費用は交付金の対象になるのか。</p>
坂総務部長	<p>東別生活センターの名称では厳しいと思います。</p>
大野町長	<p>生活館はアイヌ事業を使って建てました。解体する場合は、今まであった機能を新しい施設に持っていき生活館という名称にするため、解体する費用も対象となります。アイヌ事業のお金が入っていない施設は、実費で解体しなさいと言われます。</p>
連合自治会長	<p>鳧舞地区や美野和地区は施設の規模が小さいが、東別生活センターを解体するとなれば金額が大きくなる。交付金を使って、最終的に1割負担だとしても解体費用が相当かかるため財政的には厳しいと思う。町民としては、新しい施設が建良いが、財政的なことを考えたらどうなのかと思う。西端生活館を廃止し、春立</p>

	<p>まで行くとなれば問題があるが、すぐ目の前に施設があるため、東別連合自治会としては東別西端生活館でも良いと思う。東西きずな会や東西青年部もあるので東西生活館でも良いと思う。それでその方の気持ちがいづらか改善されるのであれば良いと思う。そのために少しでも早い段階から良い施設で利用させてもらい、両自治会がますます 1 か所に集まり交流を深められるのであれば、東別連合自治会としては良いと思う。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>総会では、新築ではなく改修することで皆さんに伝えているので心配はない。東別地区が良いというのであればそれで良いと思う。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>もう 3 年になり、いつまで経っても合意ができないため、この辺で決めて、3 月 31 日までに結論を出したい。</p>
<p>坂総務部長</p>	<p>両自治会である程度ご了解をいただけるということですが、町の考え方を全て押し付けるのではなく、地域の方のご了解をいただき進めるよう指示を受けています。皆さんにご了解いただき、改修する場合の具体的なご相談に入りたいと思います。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>できれば、令和 4 年には実施してもらいたい。</p>
<p>坂総務部長</p>	<p>現在、重点地区として梟舞地区などいくつかの地区で進めています。既存の施設が民有地を借りて立っている施設や老朽化が著しい施設など順番を決めており、来年も別な地区で進めたいと考えています。町としては、今年度中に方向性を決定し、来年度は具体的な中身を決定して、その後に実施できれば良いと思っています。議員の皆さんにも相談しながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>意見交換 連合自治会長</p>	<p>光回線は、昨年もまちづくり懇談会でお願いし、昨年 11 月に町も具体的な動きを取っていただいた。東別地区では、光回線の導入について 30 戸程度希望していた。予算的なこともあると思うが、町もいろいろなことを模索しながらやっただいています。自治会の中でも詳しい方が NTT 東日本と連絡を取っている。自治会で光回線の仮予約について再度希望者を募り、町を経由し NTT に提出してもらった。自治会で署名したものではありませんか。町でも提出してもらえないか。改めて自治会でも仮予約書に署名することで進めている。</p>
<p>柴田企画課長</p>	<p>昨年も光回線についてお話をいただき、地域の方に実情を伺いました。動画配信などを利用されている方が多くおられ、光回線を引くことがベストだと考えます。それには費用がかかるため、第 1 義的には NTT に実施していただきたいのですが、東別・西端地区に限らず町内 2,100 世帯程度が利用できていないため、そのエリアの解消方法を検討しています。西端・延出地区の一部で受信エリアが延びてきました。我々が聞いている範囲では、基地局には限界があり、おそらく三石市街地または本桐地区から電波がきていると思います。</p> <p>東別地区は、春立局の改修が必要だと聞いておりますが、自治会からの要望だ</p>

	<p>けではあまり効果がないと思います。提案のありましたこれだけ利用したいという数字を出すことができれば、要望の受け取り方も変わってきますし、事業として採算が採れるかも含めて計算すると思いますので、大きな効果があると考えます。取りまとめが終わりましたら町に提出していただき、町とNTTとの協議する場を設けることができるとと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>毎年出されている課題ですが、昨日の新聞に新しい5Gの国の補助金のことが出ていました。官庁速報という行政新聞にも過疎債の特別枠の財源措置が出ていました。町が施行した場合の財源措置が明らかになってきて、去年は規模などの話しかできないという状況でしたが、国の財源的部分が出てきています。NTT東日本もかなり内密に進めているようですが、エリア制限の場所をカバーリングしていく動きが見えています。光回線は必要であることは誰しも認識していて、NTTがどこまで実施するのか、敷設されない地区をどうするのか、枝をどのようにするのかなど具体的な協議をさせていただき、明るい見通しになってきたため、内部で情報共有しながらまたご相談させていただきたいと思います。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>仮申込書を自治会でまとめた場合、町として受けてもらえるのか。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>受けさせていただきます。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>個人的にNTT東日本に問い合わせた。NTTは2024年までに皆さんが使えるようにすることが目標らしい。どのような場所が優先的に実施されているか確認したが、採算性のこともあり、声の大きいところと話をされていた。</p>
<p>柴田企画課長</p>	<p>申込書がまとまりましたら提出いただきたいと思います。 また、先般、アンケート調査を行った結果、東別地区は世帯数から計算すると7割で、新ひだか町全体にすると残念ながら23%程度の方が使いたいという状況です。施策の判断は難しいですが、そういう基盤がないとできないことがたくさん増えてくるのが予想されますので、我々としてはNTTが全域を整備してくれればベストだと思っています。それが叶わないとすれば、有利な制度を使って実施する方向を探したいと思いますのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>介護サービスの件で、長年ご夫婦で介護の仕事をしてきて、ここで就農された方がいるのでご意見をいただきたい。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>病院が両地区にあるが、民間の力を借りるということであれば、個々の病院を町で集約できるようなことができないのか。 新規就農でこちらにきた際に町立病院に行き、診療科がたくさんある中で実施している科が少なかった。そこで個人病院を数か所行ったが、まとまって診療ができれば良いと思った。集約することによって、お客さんをしっかり確保できるのではないかと。</p>

本庄副町長	<p>町民から見るとそうあるべきだと思います。しかし、過去の経過は逆であり、町立病院の役割は、民間では採算のとれない診療科目ははずしてしまうため、赤字とわかっていても診療科目が無いものはできる限り町立病院が確保していく立ち位置になっています。個人病院ができるのと町が赤字覚悟で派遣医をお願いして運営しているとバッティングします。個人病院を入れてしまえば良いのではないかという発想は素晴らしいと思います。しかし、現実には個人病院は個々に経営方針を持っていて、個人でもやっていくという立て方をしています。お客さんの取り合いをしないために町はやめる方向に進めます。町としては、住民の方が希望の診療科に通えるような仕組みができれば、できる限り取り合いをしたくないというのが考え方です。最低限、地域内で一次医療を確保したいというのが大前提にありますので、ご意見のあったようにはなっていないのが現状です。</p>
自治会員B	<p>民間委託することにより町職員が減った場合、現在働いている職場では町で職員を確保させられるのか。町財政がひっ迫している中で仕事が無くなり町外に出ていってしまう方がいるのではないかと。</p>
本庄副町長	<p>できる限り働いている方の選択にお任せしています。担当者が何度か個人ヒアリングを行い、選択肢として提案しながら協議を続けています。</p>
連合自治会長	<p>小児科は医者が少ないと聞いている。</p>
本庄副町長	<p>小児科医は診療報酬が安いと、赤字の診療科目であり、民間でも開業していただけない。医者が少なく、思うようにいっていません。</p>
連合自治会長	<p>新ひだか町になって10年以上経過したが、自治会報奨金は旧三石町と旧静内町では大きな違いがある。統一してはどうか。</p>
坂総務部長	<p>合併前は基準が異なっていたので、合併した2、3年後に基準を改正し、面積などで計算する部分に違いはありますが基本的な部分は合わせています。三石地区には連合自治会組織があるため、その活動にも報奨金を出しています。基本的な考え方の部分は統一しています。</p>
連合自治会長	<p>東別地区には三つの自治会があるため、連合自治会制度にしている。活動そのものは全く同じであるが、報奨金は極端に違いがある。静内地区には連合自治会組織はあるのか。</p>
坂総務部長	<p>静内地区に連合自治会組織はありませんが、東静内地区では町内会がいくつかあり、名称が東静内連合自治会となっております。市街地は会員数が多いのですが、連合組織はありません。自治会同士で交流などを行っていることは聞いております。</p>
連合自治会長	<p>一度実態を見ていただきたい。</p>

連合自治会長	静内地区も連合自治会組織を作れば良いが、できないのではないかと。
坂総務部長	合併後に静内地区において自治会にアンケート調査を実施しました。連合自治会という考え方を持った自治会はほぼありませんでした。過去の経過があり自治会活動を行っているため、今のままの方が良いというご意見が大勢を占めていました。
本庄副町長	自治会に対する考え方が違います。静内地区はマンションなどが多いため自治会への加入率が半分程度です。三石地区は100%近くの方が加入しています。
連合自治会長	何事に対しても平準化しなければならない。
本庄副町長	地域の意見を集約するという点では、連合自治会はやりやすい。静内地区でも連合組織ができれば良いが難しい。
連合自治会長	施設の統合による改修は、3月までである程度方針を決めて、なるべく早く進めてほしい。
坂総務部長	本日、両会長の力強いご意見をいただきましたので、そのような方向で進めさせていただきます。
連合自治会長	J R 日高線がバス転換することに決定されて、路線等どのように進めるのか。
柴田企画課長	<p>昨年11月に日高管内7町の町長会議の中で、全線バス転換に向けて正式にJ R 北海道と協議を進めることで決定しました。今後、路線も含めて具体的な協議に入りますが、7町共通の事項と各町それぞれの事項とがあり、7町それぞれがJ R 北海道へどのようなことを求めていくのか、これを実施していただければ廃線に合意しますという要望を整理しています。</p> <p>先般、議会とは協議させていただき、2月中に両地区それぞれで説明会を設けて町の考え方を説明し、町民の皆さんからのご意見、ご要望、アイデアなどをいただき、それを踏まえて新ひだか町としてこの内容でJ R 北海道と協議していきたいというものを2月末までにまとめたいと考えています。その後、正式にJ R 北海道に提案し、全ての要望を聞き入れてもらえれば廃線に異論なしとなって行くのですが、受け入れてもらえないものが出てくると想定しています。その結果の折り合いが付き、かつ、7町全ての要望を聞き入れてもらえれば正式に廃線になると思います。それが整うまでは廃線に向けた協議を続けていきます。</p>
連合自治会長	この地域には東別駅があるので、自治会や住民に意見を聞いてもらい反映してほしい。
柴田企画課長	札幌市や新千歳空港、苫小牧市に向かう長距離路線は、えりも町が発発になり

	<p>駐車場所を少なくしなければ時間がかかるため、ある程度集約する考え方をもっています。一方、学生が通学に使用するものについては、現状を見ながら大きな影響が出ないよう模索していきます。当町だけの考えだけでは進まないこともありますので、7町の意見を踏まえて検討したいと思います。</p>
閉会挨拶	<p>大野町長</p> <p>本当に今日は来て良かったと思います。この建物の決着がつき本当にありがとうございました。どのような内容で改修するかをご相談しながら良いものを造っていきたいと思います。</p> <p>病院と介護の件は今後進めていきますが、いろいろなものが世の中に合わせて形を変えていかなければならない時代は既に来ていまして、町民の皆さんにどの程度の負担を強いることになるのか、あるいは、今よりも良い方法になるのだけれども、こういうものは無くなってしまいますというものもありますし、民間にお願いしてもっと良いサービスをしてもらうために、行政機関がもっと小さくなくても良いと思っています。そういう考え方で、今回の病院や介護の一定の考え方を出したところですが。全てこのとおり4月1日から実施するとは思っておりませんので、これに近づくように協議を重ねながら進めていきたいと思っています。</p> <p>皆さんが不安に思っているのは、昨年新聞報道で国が新ひだか町の2つの病院を再編するという記事が突然出て、事前に我々に連絡があったわけではありせんし、昨年4月から担当職員を置き体制を整え検討しているところであり、自分たちのことは自分たちで考えていると言いたいです。</p> <p>光回線については、昨年も手紙をもらいまして返事を書きましたが、良い返事が書けませんでした。未開通エリアの中でどの程度光回線を使いたい方がいるのかを役場として把握しておらず、その数を把握せずに金額などの話をするにはならないため、皆さんがどう考えていて、利用する方はこの程度いることを把握しなければ、優先度の選択はできないのではないかと考え、アンケート調査をさせていただきました。調査を行っている中で、新たな財源措置が出るという報道がありました。これまで町で借金して別な事業に使っていたものを休んで光回線に向けることとなります。しかし、町の根幹に関わるものにお金を使っていますから休むものがないのです。光回線用の財源措置が新たにできれば我々も踏み込んで行けます。国では予算審議していますが、情勢を見極めながらきちんとした対応を考えたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
閉 会	19:44 終了